

授業科目名	解剖学実習 I		授業形態	演習	配当学期	1年（前期）
担当教員名	池田 卓矢（アシスタント：廣岡幸峰 他）		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>一度失われた機能を改善するためのリハビリテーション訓練を進める時に、日常生活において四肢体幹の動きを考えるその中で、基本的な解剖と生理は欠くことができません。患者の機能改善を考え、もう一度基本に戻って解剖を求めたとき、リハビリテーションとして触診はたいへん重要になります。本授業では、触診の意義、方法について学習をしていきます。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>体表解剖実習：人体を頭頸部、体幹、上肢、下肢に分け、各部の骨格と筋の関係について触察を通して、存在場所、形態、大きさ、作用を確認し、体表から触知できる構造物を実際に触察できる。解剖学実習 I では、主に上肢帯、上肢を中心に知識を深める。</p>					
授業回数	授業内容					
第 1 回	上肢 靭帯・筋 触診 1					
第 2 回	上肢 靭帯・筋 触診 2					
第 3 回	上肢 靭帯・筋 触診 3					
第 4 回	上肢 靭帯・筋 触診 4					
第 5 回	上肢 靭帯・筋 触診 5					
第 6 回	上肢 靭帯・筋 触診 6					
第 7 回	上肢 靭帯・筋 触診 7					
第 8 回	上肢 靭帯・筋 触診 8					
第 9 回	上肢 靭帯・筋 触診 9					
第 10 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 0					
第 11 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 1					
第 12 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 2					
第 13 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 3					
第 14 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 4					
第 15 回	上肢 靭帯・筋 触診 1 5					
評価方法	単語帳テストと触診実技テスト それぞれ60点以上で単位習得とする。					
教科書 参考図書	〔教科書〕 運動療法のための機能解剖学的 触診技術 改定第2版 上肢・下肢体幹					
履修上の 留意点	実技が主体となるので、触診部位を露出しやすい格好で参加してください。 身体へのトレースを行うので、ホワイトボードマーカーを2～3色、拭き取り用のアルコールシートを準備してください。					
メッセージ	身体構造の理解と触察の体得が必要なので積極的に練習を重ねていきましょう					